

母親が孤立しないように

母親にとって、初めての子育ては不安がいっぱい。しかも、子育て中の母親は、地域から孤立してしまいがちです。一日じゅう、母子二人だけで過ごしている方もいるようです。育児の不安を誰にも相談できずにいると気持ちが悪くなり、子どもにも影響を与えてしまいます。

昨年度、名細保育園に地域子育て支援センターが移転しました。同センターでは、電話や来所での相談や子育てに関する講座・サークル支援などを行っています。名細保育園と今成保育園には、就園前の子どもが同年代の子どもたちと遊び、母親どうしが交流できる子育て支援室があります。きょうも親子の皆さんが集まってきました。市では現在、法人立保育園も含めて四か所にある地域子育て支援センターを、もう一か所増やしていく予定です。同じような機能を持つ「つどいの広場」も、今年度から設置していきます。

また、より地域に密着した子育て支援の場として、市内の保育園が世代間交流や育児相談などの地域子育て支援事業を行っています。地域子育て支援センターと主な地域子育て支援事業については、下をご覧ください。詳しくは各保育園にお尋ねください。

仕事を続けられるように

市では、子どもを預けたいと思っている皆さんのために、保育園の定員を増やし、待機児童ゼロを目指しています。

家庭保育室についても、四月から、こまどり保育室（吉田・TEL232-3491）▼霞ヶ関駅前保育園（霞ヶ関東二丁目・TEL232-8877）▼ポニー保育園（脇田本町・TEL245-5703）▼子育て応援サロン（エンジェル）（脇田本町・TEL245-0415）を指定しました。入室など詳しくは、各家庭保育室へお尋ねください。

七月からは公立保育園二十園で、午前七時から午後七時（高階保育園は午後八時）までの延長保育を実施。

保育所による主な地域子育て支援事業（地域子育て支援センターを含む）

下田保育園（TEL231-0750）…地域子育て支援センター（金曜日、午前10時～11時）▶電話相談（月～金曜日、午前10時～午後4時）ほか

むさしの保育園（TEL233-4193）…交流の場・相談（月～金曜日、午前9時～正午）▶リズム（第1月曜日、午前9時～正午）ほか

増美保育園（TEL245-2740）…子育て広場（火・木曜日、午前10時～正午）▶押し花・リース作り教室（年2回予定）

まきば保育園（TEL246-8014）…電話相談（金曜日、午後1時～2時）

おおぞら保育園（TEL245-6666）…電話相談（月～金曜日、午後1時～4時）

バンビ保育園（TEL232-9155）…地域子育て支援センター（火曜日、午前10時～11時15分）▶電話相談（月～金曜日、午前10時～午後4時）

貴精保育園（TEL245-1413）…園庭開放（火・木・土曜日、午前10時～正午）▶相談（随時）ほか

高の葉保育園（TEL244-4080）…園庭開放・相談（予定）

マーガレット保育園（TEL233-8882）…園庭開放・講演会（予定）

芳野保育園（TEL225-6451）…相談（火・木曜日、午前9時～正午）ほか

風の子保育園（TEL225-1928）…地域子育て支援センター（月～金曜日、午前9時30分～正午）▶0歳児の日（水曜日、午前10時～11時30分）ほか

笠幡菜の花保育園（TEL233-1058）…世代間交流・相談・開放保育（月・金曜日、午前9時～11時30分）

名細保育園（TEL231-1967）…地域子育て支援センター・TEL233-7551（月・水曜日、午後2時～4時）▶子育て支援室（月・水曜日＝午前9時30分～正午、火・木・金曜日＝午前9時30分～正午と午後2時30分～4時。第2・第4金曜日の午前は1歳未満が対象）

今成保育園（TEL224-3371）…子育て支援室・TEL222-8622（月～金曜日、午前9時15分～正午と午後2時45分～4時30分）



おもちゃを貸せるようになり、拍手喝さい



絵本の読み聞かせや人形劇も楽しめず



「初めて来ました。楽しいですね。初めて利用する場合、優先予約ができます」

子育て支援室（名細保育園）

「家の近くに子どもがいないので、昨年4月から来ています」「子どもをみんなと遊ばせることができ、親も子どもの健康や遊び場、イベントなどの情報交換が楽しみです。また、ここは外遊びもでき、夏にはプールにも入れます」「きょう、次回の予約をしました。そのため、今成保育園や法人立の保育園も利用しています。そこで再会する方も多く、だんだんと顔見知りが増えていきます。このような施設が、もっと増えてほしいですね」と、利用者の皆さんから話を伺いました。



ファミリー・サポート・センター

上の写真の左から、依頼会員の佐藤佳代さん（27歳・寺尾）、子どもの響くん（1歳8か月）、提供会員の三浦保代さん（53歳・清水町）。佐藤さんは仕事の都合で3月末から週2回、午前中に1時間半ほど、響くんを三浦さんに預けています。「私が車を運転できないこともあり、家の近くの方に子どもを見てもらいたいと希望しました。みんなそうだと思いますが、子育ては不安でいっぱいです。三浦さんは4人の子を育て上げたという安心感があります。これからは子育ての話も聞きたいですね。三浦さんは家族みたいにさせていただいて、私の母親のようです」と佐藤さん。「4人の子どもが独立したら寂しくなってしまう、2年前、提供会員になりました。預かるのは、響くんが3人目になります。前の2人の時は保育園のお迎えをして、親が来るまで子どもを預かっていました。響くんくらい年齢の子を預かるのは楽しみ。生活に張り合いが出ますね」と三浦さん。

また、週に二、三日や午前だけ子どもを預かるなどの特定保育についても行っていくなど、保育に柔軟性を持たせる取り組みを始めています。それでも、迎えに行く時間に間に合わない場合も……。そんな時、役立つのがファミリー・サポート・センター。提供会員の皆さんが有償で子どもを保育園から預かり、提供会員の家で保育します。このサービスを受けるには、依頼会員としての登録が必要です。七月からは相談・申

請窓口を、土曜日も開設します。また、子育て家庭や高齢者世帯への家事援助を行う、「かわごえ友愛センタ―」もあります。詳しくは、社会福祉協議会（TEL 225・5703）にお尋ねください。

子育ての輪が広がっていく

現在、市内の子育てサークルが集まり、「川越子育てネットワーク」を結成しています。同ネットワークでは、子育てサークルの会員募集や

子育て情報が掲載された「川越子育てネットワーク通信」を偶数月に発行。公民館などの公共施設やスーパーマーケットなど、親子が足を運びそうな所に置いてあります。なお、ホームページでも、情報提供をしています。

<http://www.kawagoekosodate.net>

また、子育てサークルどうしがつながりを持つ機会づくりや、サークルに入っていない親子が気軽に行ける居場所づくりもしています。市と協働で、親子が楽しめるイベントの企画・運営も行っています。

昨年度から、こども家庭課の呼びかけに、子育てサークルの代表者や同ネットワークのスタッフが集まり「子育てアイデア会議」を開催しています。この会議が中心となり、二月二十六日に「子育てフェスタ」を実現しました。

今後、市では子育てに関する情報を共有しながら、子育てサークル・保育園・幼稚園・認可外保育施設を結ぶネットワークをつくり、より確かな情報の発信と子育て支援体制を強化していきます。

子育てにやさしいまちに

少子化は都市化や核家族化が進み、未婚・晩婚化や夫婦があまり子どもをつくらなくなったことなどが原因だといわれています。



子育てネットワーク事業
「子育てフェスタ」(上)と
「子育てアイデア会議」(右)



少子化に歯止めをかけるためには、地域に見守られ、豊かな環境の中で、安心して子どもを産み、育てられるまちづくりが必要です。かわごえ子育てプランでは、福祉・保健・医療をはじめ、教育・環境・都市計画など、市が全庁をあげて子育てを応援しています。そして、子育て中の皆さんはもちろん、次世代を担う皆さんが、笑顔で過ごせるまちを目指していきます。

*「かわごえ子育てプラン」は、こども家庭課（本庁舎二階）・総合保健センター・公民館・図書館で閲覧できます。市のホームページからダウンロードすることもできます。

<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>